2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　ナラサキ産業株式会社　　上場取引所　東 札
コード番号　　8085　　URL　https://www.narasaki.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長兼社長執行役員　　（氏名）中村　克久
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員　経営管理本部副本部長　（氏名）長谷川　昌史　TEL　03-6732-7350

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	61,510	15.0	2,108	128.7	2,169	111.4	1,541	139.4
2026年３月期中間期	53,472	8.3	922	△5.0	1,026	0.1	643	△2.1

（注）包括利益 2027年３月期中間期　2,380百万円（143.2%）　2026年３月期中間期　978百万円（173.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	307.18	―
2026年３月期中間期	126.31	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	62,050	31,393	49.8
2026年３月期	62,579	29,517	46.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　30,900百万円　2026年３月期　29,055百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	130.00	130.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期（予想）			―	160.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	6.4	4,000	30.4	4,000	26.2	2,800	24.9	558.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社、除外　－社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,325,600株	2026年３月期	5,325,600株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	285,507株	2026年３月期	321,497株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	5,017,183株	2026年３月期中間期	5,096,882株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2026年11月４日に公表しました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しなどにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続や深刻な人手不足に加え、円安や中東情勢による原材料・エネルギー価格の上昇など先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは持続的成長と更なる企業価値向上の実現に向けて、中期経営計画“ＮＳクリエーション2026”を推進してまいりました。中期経営計画の最終年度となる当中間連結会計期間におきましても、成長戦略として事業ポートフォリオ分析に基づき事業の選択と集中を進めるとともに、グループ総合力の発揮、収益力強化と生産性向上などに取り組みました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は615億10百万円（前年同期比15.0％増）、営業利益は21億８百万円（前年同期比128.7％増）、経常利益は21億69百万円（前年同期比111.4％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は15億41百万円（前年同期比139.4％増）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

（電機関連事業）

建築設備分野では、データセンター向けなどインフラ投資需要が引き続き高い水準で推移し、制御機器等の販売が好調を維持しました。生産設備分野では、生成ＡＩ関連の需要が旺盛であり、半導体設備向けの部品等の販売が大きく伸長したほか、レーザ加工機の輸出案件も順調に進捗しました。

以上の結果、売上高は189億63百万円（前年同期比45.9％増）、セグメント利益は11億74百万円（前年同期比217.7％増）となりました。

（機械関連事業）

農業施設分野では農産物の低温貯蔵設備、産業機械分野では食品関連設備等の受渡しが順調に進みました。建設資材価格の高騰などを受けて設備投資の抑制が続きましたが、北海道では気候変動対策などを背景に投資が拡大し、貯蔵設備等の引合い・受渡しが堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は42億70百万円（前年同期比46.7％増）、セグメント利益は99百万円（前年同期はセグメント損失20百万円）となりました。

（建設・エネルギー関連事業）

建材分野では、橋梁資材や北海道新幹線工事向けのセメント・生コンの出荷が順調に推移しました。一方、建築関連は、人手不足や資材価格高騰に伴う工事案件の減少や進捗の遅れにより伸び悩みました。建設機械分野では、設備投資の一巡や製品価格の上昇により、新車需要が低調でした。エネルギー分野では、中東情勢の緊迫化に伴い需給の逼迫した状況が続き、原油価格も高止まりしたことから、ガソリン等の販売量が減少しましたが、原価管理に努め、採算の改善により収益面は堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は295億91百万円（前年同期比0.9％増）、セグメント利益は４億７百万円（前年同期比25.6％増）となりました。

（海運関連事業）

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、苫小牧及び室蘭において鋼材、石炭、バイオマス燃料などの取扱いが好調に推移しました。国際輸送は荒天等の影響により取扱量が減少しましたが、新規貨物の獲得や業務効率化、保有設備の利用拡大に取り組みました。

以上の結果、売上高は86億84百万円（前年同期比5.5％増）、セグメント利益は４億20百万円（前年同期比67.1％増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は620億50百万円となり、前連結会計年度末に比べて５億29百万円減少しました。総資産の内訳は、流動資産404億13百万円、固定資産216億36百万円であります。総資産が減少した主な要因は、商品及び製品の減少13億９百万円、現金及び預金の減少10億32百万円、投資その他の資産の増加11億36百万円であります。

負債は306億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億５百万円減少しました。負債の内訳は、流動負債251億49百万円、固定負債55億７百万円であります。負債が減少した主な要因は、支払手形及び買掛金の減少49億

２百万円、電子記録債務の増加13億52百万円であります。
純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益15億41百万円などにより、前連結会計年度末に比べて18億76百万円増加し、313億93百万円となりました。
以上の結果、自己資本比率は49.8％（前連結会計年度末は46.4％）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）
当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は121億88百万円（前年同期は122億31百万円）となり、前連結会計年度末に比べて６億64百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動によるキャッシュ・フローは、３億９百万円の支出（前年同期は15億11百万円の収入）となりました。主な収入項目は、税金等調整前中間純利益23億37百万円、棚卸資産の減少額10億１百万円、減価償却費３億80百万円、長期前払費用償却額１億３百万円であります。主な支出項目は、仕入債務の減少額35億46百万円、法人税等の支払額６億６百万円、売上債権及び契約資産の増加額５億99百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動によるキャッシュ・フローは、３億10百万円の収入（前年同期は10億88百万円の支出）となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入（純減少額）３億68百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動によるキャッシュ・フローは６億70百万円の支出（前年同期は７億96百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額６億51百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、2026年５月12日に公表いたしました2027年３月期の連結業績予想を修正しております。
詳細につきましては、2026年11月４日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
なお、業績予想につきましては、発表日現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,493	12,460
受取手形、売掛金及び契約資産	18,741	18,544
電子記録債権	4,212	5,012
商品及び製品	3,082	1,772
仕掛品	316	617
原材料及び貯蔵品	48	59
その他	2,012	1,951
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	41,900	40,413
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,499	4,563
その他（純額）	5,265	5,006
有形固定資産合計	9,764	9,570
無形固定資産	96	111
投資その他の資産		
その他	10,842	11,979
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	10,817	11,953
固定資産合計	20,678	21,636
資産合計	62,579	62,050

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,803	11,900
電子記録債務	6,211	7,564
短期借入金	1,200	1,200
１年内返済予定の長期借入金	246	291
未払法人税等	675	694
賞与引当金	616	554
その他	2,054	2,943
流動負債合計	27,808	25,149
固定負債		
長期借入金	525	580
特別修繕引当金	72	82
株式給付引当金	－	16
退職給付に係る負債	964	794
その他	3,690	4,032
固定負債合計	5,253	5,507
負債合計	33,062	30,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,385	1,629
利益剰余金	22,127	23,018
自己株式	△853	△947
株主資本合計	25,013	26,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,885	2,758
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	173	230
退職給付に係る調整累計額	1,980	1,856
その他の包括利益累計額合計	4,041	4,845
非支配株主持分	462	493
純資産合計	29,517	31,393
負債純資産合計	62,579	62,050

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	53,472	61,510
売上原価	47,686	54,711
売上総利益	5,786	6,798
販売費及び一般管理費	4,863	4,689
営業利益	922	2,108
営業外収益		
受取利息	6	14
受取配当金	80	90
持分法による投資利益	2	6
為替差益	40	－
その他	21	31
営業外収益合計	150	143
営業外費用		
支払利息	23	26
為替差損	－	37
その他	22	18
営業外費用合計	46	82
経常利益	1,026	2,169
特別利益		
固定資産売却益	－	4
投資有価証券売却益	－	139
関係会社清算益	－	27
特別利益合計	－	170
特別損失		
固定資産処分損	5	0
投資有価証券評価損	－	2
特別損失合計	5	2
税金等調整前中間純利益	1,020	2,337
法人税、住民税及び事業税	303	630
法人税等調整額	53	129
法人税等合計	356	759
中間純利益	663	1,577
非支配株主に帰属する中間純利益	19	36
親会社株主に帰属する中間純利益	643	1,541

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	663	1,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	410	872
繰延ヘッジ損益	2	△3
為替換算調整勘定	△53	57
退職給付に係る調整額	△44	△124
その他の包括利益合計	315	802
中間包括利益	978	2,380
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	951	2,344
非支配株主に係る中間包括利益	26	35

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,020	2,337
減価償却費	357	380
長期前払費用償却額	97	103
貸倒引当金の増減額（△は減少）	12	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	3	△62
退職給付に係る資産負債の増減額	△138	△351
その他の引当金の増減額（△は減少）	0	26
受取利息及び受取配当金	△86	△105
支払利息	23	26
持分法による投資損益（△は益）	△2	△6
為替差損益（△は益）	△45	38
固定資産処分損益（△は益）	5	△4
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△139
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	1,185	△599
棚卸資産の増減額（△は増加）	△729	1,001
仕入債務の増減額（△は減少）	779	△3,546
前渡金の増減額（△は増加）	△482	△196
契約負債の増減額（△は減少）	20	429
その他	△67	896
小計	1,954	230
利息及び配当金の受取額	88	105
利息の支払額	△23	△27
法人税等の支払額	△490	△606
その他	△17	△11
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,511	△309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△236
定期預金の払戻による収入	－	604
有形固定資産の取得による支出	△958	△167
有形固定資産の売却による収入	14	4
長期前払費用の取得による支出	△116	△39
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	12	157
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	3	4
その他	△37	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,088	310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	223
長期借入金の返済による支出	△130	△123
自己株式の売却による収入	77	32
自己株式の取得による支出	－	△0
配当金の支払額	△607	△647
非支配株主への配当金の支払額	△6	△4
その他	△130	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△796	△670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	4
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△378	△664
現金及び現金同等物の期首残高	12,609	12,852
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,231	12,188

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	電機関連事業	機械関連事業	建設・エネルギー関連事業	海運関連事業	合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
顧客との契約から生じる収益	12,996	2,911	29,326	8,230	53,466	－	53,466
その他の収益	－	－	6	－	6	－	6
外部顧客への売上高	12,996	2,911	29,333	8,230	53,472	－	53,472
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	188	4	192	△192	－
計	12,996	2,911	29,521	8,235	53,665	△192	53,472
セグメント利益又はセグメント損失（△）	369	△20	324	251	924	△2	922

（注）１　セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△２百万円、セグメント間取引消去額△０百万円が含まれております。

２　セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	電機関連事業	機械関連事業	建設・エネルギー関連事業	海運関連事業	合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
顧客との契約から生じる収益	18,963	4,270	29,584	8,684	61,504	－	61,504
その他の収益	－	－	6	－	6	－	6
外部顧客への売上高	18,963	4,270	29,591	8,684	61,510	－	61,510
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	219	4	225	△225	－
計	18,965	4,270	29,810	8,689	61,735	△225	61,510
セグメント利益	1,174	99	407	420	2,102	6	2,108

（注）１　セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用０百万円、セグメント間取引消去額６百万円が含まれております。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。